



2023年8月9日

各 位

会 社 名 GMO フィナンシャルゲート株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉山 憲太郎
 (コード番号 4051 東証グロース)
 問合せ先 取締役 管理本部本部長 玉井 伯樹
 (TEL 03-6416-3881)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました2023年9月期（2022年10月1日～2023年9月30日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2023年9月期通期連結業績予想の修正

(2022年10月1日～2023年9月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,620	1,020	1,018	631	76.29
今回修正予想 (B)	15,000	1,020	1,018	631	76.29
増減額 (B-A)	1,380	—	—	—	
増減率 (%)	10.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年9月期)	10,295	740	745	472	57.32

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の実績値を踏まえ、通期の売上高が2023年5月11日に公表した予想金額を上回る見込みであるため、修正することといたしました。当第3四半期連結累計期間の業績は、イニシャル売上及びリカーリング型売上（ストック、フィー及びスプレッドの合計）ともに予想を上回る推移を示しました。当社連結売上高の約6割から7割程度を占めるイニシャル売上は、その特性上四半期毎に売上が予想に反して上下する傾向にあることから、期ずれの可能性等を考慮し2023年5月11日に公表した下半期連結予想売上高は当初予想を据え置いておりました。しかしながら、計画通り大口案件先への決済端末設置が進んだことに加え、中小加盟店からも旺盛な決済端末需要があったことにより、イニシャル売上が予想を大きく上回り進捗しました。加えてリカーリング型売上についても、好調なイニシャル売上が背景とした稼働端末台数の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による経済活動再開や、訪日外国人観光客数の増加によるインバウンド需要回復も追い風となり、決済処理件数・金額が順調に拡大したことで当第3四半期連結累計期間の売上高は12,003百万円と前回発表の通期連結業績予想13,620百万円に対し88.1%の進捗率となりました。

一方、通期連結予想利益については2023年5月11日に公表した予想値を据え置いております。第4四半期における事業環境について具体的な懸念は無く、安定的に当社業績は推移するものと考えておりますが、将来に対する成長投資を販売費及び一般管理費段階で追加的に実施する予定です。これは、当第3四半期連結累計期間において粗利率の高いリカーリング型売上（ストック、フィー及びスプレッドの合計）の積み上げによる利益創出ができ、通期ベースでは当社経営目標である営業利益成長率+25%（年率）を大きく上回る見通しであることから、第4四半期を来期以降の継続的な売上・利益成長を実現するための投資期間と位置付け、積極的に必要コストに資金を充当していく予定です。

具体的には、

- ・来期以降の売上及び利益向上に資する事業性の先行投資（個別案件における投資、市場調査等）
- ・役職員に対する業績を反映した賞与等による成果還元及び人材への投資（新たな人材採用と役職員研修等による人材開発）
- ・生産性向上に資する投資（各種社内システムの改修・新設等）
- ・サステナビリティに関する取り組みの推進（GHG排出量削減を含む気候変動への対応、ESGに関する取組強化と情報開示の充実等）

に追加投資を予定しております。

※上記業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上